

17. 友部太極拳クラブ（令和5年11月19日更新）

令和5年10月10日楊名時太極拳の日に「お試し太極拳」を開催しました。

私たちは、陶芸と栗の町、笠間市の「友部太極拳クラブ」です。当クラブは1986年6月に設立され、今年37年目になります。会員数は44名で、男性会員は3名です。毎週火曜日の午前2時間、稽古に励んでいます。出席率は9割と、皆さんとても熱心です。

今年初めての試みとして、楊名時太極拳の日に「お試し太極拳」と銘打ち、市の広報紙での呼びかけで一般の方々5名も参加され、とても好評でした。

これからも健康長寿につながる楊名時太極拳の仲間を増やして行こうと思います。

文責 クラブ代表 森 英三





No.21 友部太極拳クラブ

毎週火曜日の午前、友部公民館(笠間市)から、ゆったりとした優美な旋律が聞こえてきます。友部太極拳クラブの稽古日です。

当クラブは、1986年6月に設立され、来年30周年を迎えます(支部入会は1991年5月)。講師は、満96才にしてなお矍鑠(かくしゃく)とした金箱 廣美師範(男性です)、会員数は現在49名、うち男性会員は9名とご多分にもれず圧倒的に女性上位です。

金箱先生は、2000年4月からの担当で4代目です。歴代の先生方は、初代が小松崎 貴枝先生、2代目が白土 圭子先生、3代目が戸倉 和子先生、と茨城県支部の創設に携わられた錚々(そうそう)たる先生方です。

当クラブは、週1回の稽古のほか、会員募集を兼ねて「公民館まつり」にも参加し、また新年会、暑気払いや公民館まつりの打ち上げ等を催し、折々の機会に会員相互の親睦を図り、「同心協力」を心がけております。

金箱先生は、若手(?)の育成にも熱心に取り組んで、本年5月には待望の師範が2名誕生しました。なお4名の準師範が、師範を目指して鍛錬中です。

急速な高齢化社会にあって、健康寿命を延ばす必要性が喫緊の課題となっております。その一助となり得る「楊名時太極拳」の輪をより大きくと念じつつ、また楊 名時先生の「健康即幸福」を肝に銘じて、一同稽古に励んでおります。

(2015年7月現在)



